緊急地震速報が鳴ったら数十秒で出来ること

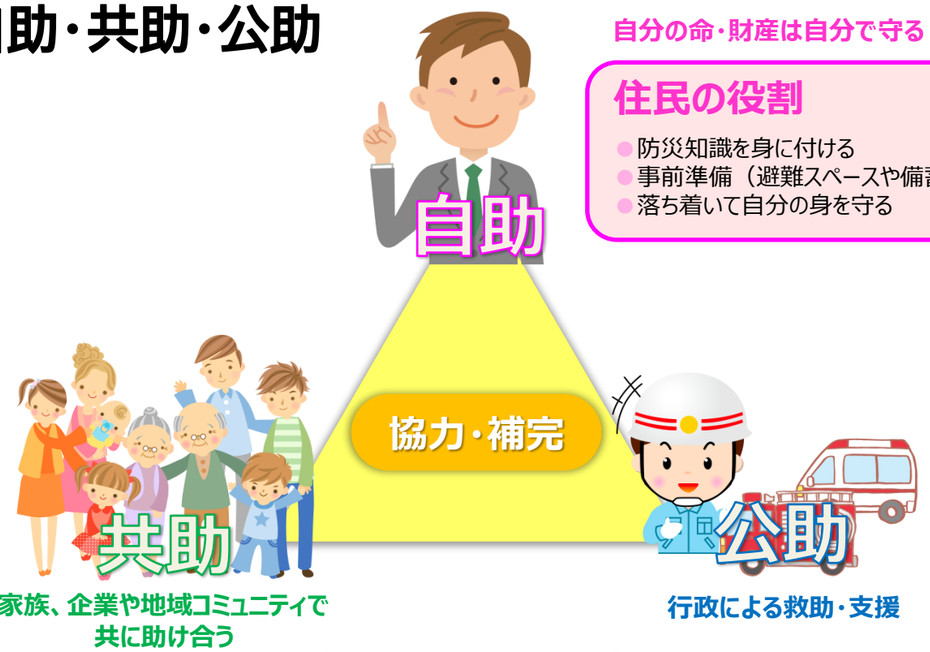
◆住戸内での安全確保

緊急地震速報が流れて、強い揺れを感じるまでの時間は、数秒～数十秒です。このわずかな時間に屋外に出ようとするのではなく、住戸内で安全な場所へ各々避難するようにしましょう。（各避難スペースは家族内で話し合い、決めておく）ペットや高齢者は安全な場所に連れていき、抱きかかえて身を守りましょう。

トイレやバスルームに逃げ込んだ場合は、ドアを開けておき、閉じ込めの危険性を防ぎましょう。

揺れが来るまでの到達時間や震度の大きさ、自身の家族構成や居住階などの条件にあわせて家庭内で訓練しておきましょう。

自助・共助・公助



自分の命・財産は自分で守る

住民の役割

- 防災知識を身に付ける
- 事前準備（避難スペースや備蓄）
- 落ち着いて自分の身を守る

家族、企業や地域コミュニティで共に助け合う

地域の役割

- 防災訓練や消火訓練
- 家族を守る
- 協力して消火・救助活動

行政による救助・支援

行政の役割

- 防災マップ等の作成及び公表
- 被害想定・被害軽減策の検討
- 自衛隊や消防職員による救助

保存版

防災新聞0号

発行者

株式会社安信

揺れがおさまった後の行動チャート

自分の状況確認

負傷の有無、負傷箇所、支援の必要性があるかどうかを確認する

負傷していたら

●支援の要請

負傷の有無、負傷箇所、支援の必要性があるかどうかを確認する

負傷していないなら

●津波・土砂災害の危険があるなら

速やかに避難行動を開始する

足元の確認

足を保護して落ち着いて行動

●火災が発生したら

初期消火後、避難のタイミングを周りに知らせながら避難

家族に被害がなければ

●不在家族の安否確認

家族が離れ離れになっているときの安否確認

家族の安否確認

家族の負傷の有無、家具の下敷き・閉じ込め被害の確認

被害があれば

●救命救助

負傷箇所の応急手当/閉じ込めの救出/状況により外部の支援要請

●被害の確認

隣近所の被害・安否確認/建物被害の有無

室内の被害確認

ドアの開閉が可能か/ライフラインの被害/通信状況/家具の被害等

●情報入手

地震の規模と広域の被害状況/地域の被害状況を確認

避難の判断

建物被害、室内状況などにより避難の必要性を判断

●避難前確認

家電製品のコンセントを抜く/ブレーカーを切る

「公助」の限界

平成27年度の東京都全域における災害車両数		
救急車		333台
消防車		673台
はしご車		83台

◆救助体制が整うのに約3日

地震によって倒壊した建物が道路を塞ぎ、消防・警察・自衛隊の迅速な救助が困難となります。各県から応援なども派遣されますが、被災地全てを網羅できるだけの救助は、すぐには整いません。

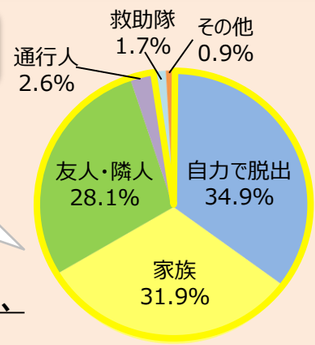
また、通常の火災やケガ人等の場合は、1つの現場に対し集中して救助活動を行えますが、大規模地震の場合は、同時にたくさんの要救助者や火災が発生する為、全てを同時に救助することは、全災害車両を出動させても圧倒的に数が足りないため不可能です。

自助の重要性

阪神・淡路大震災における生埋めや閉じ込められた際の救助主体

自力で脱出、家族・友人・隣人等の救助によって救出された割合が

98.3%



自分の命、家族の命を守るには、何よりも『自助』が重要です。

地震がきたら建物の外に逃げられるのか？

震度4

眠っている人が目を覚まし、
座りの悪い置物などが倒れます。

震度5弱

棚の食器や本が落ちたり、家具が動くことがあります。

震度5強

タンスなどの重い家具が倒れることもあります。家のドアが変形することも

震度6弱

立つことが難しく、家具が倒れることも。
昭和56年以前の建物では倒壊することも。

震度6強

這わないと動けません。家具のほとんどが動き、倒れます。平成12年以前の建物では倒壊することも。

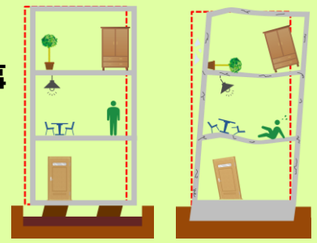
震度7

自分の意思で行動できません。築浅でも免震工法や制震工法の建物以外は倒壊することも。

地震対策の「松竹梅」

松

- 家の建て替え
- 免震・制震補強工事



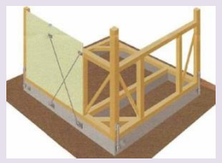
免震構造　耐震構造

安全性が1番高い

莫大な費用がかかる

竹

- 耐震補強工事・シェルター



倒壊の恐れを軽減できる

高額な費用がかかる

- 小型オープンシェルター

コストが安い・引越先に持っていける

きちんと避難する為に練習が必要

梅

- 家具の固定・配置
- 防災グッズ・備蓄
- 通電火災対策
- 家族防災マニュアル
- 生命保険・地震保険

低コストで出来る地震対策

救助来るまで生き延びる可能性が高まる

地震から命を守れない

入館料
10%OFF
北淡震災記念公園
割引チケット
（何名様でもOK！）

北淡震災記念公園のご案内

～北淡震災記念公園　野島断層保存館～

平成7年1月17日、午前5時46分マグニチュード7.3、最大震度７を記録する兵庫県南部地震が発生しました。6,434名の犠牲者と甚大な被害をもたらした地震災害は「阪神・淡路大震災」と名付けられました。北淡震災記念公園は地震を起こした「野島断層」を保存し、震災を後世に伝えるとともに、今後の防災に役立てるために、平成10年4月2日に開園しました。

断層保存ゾーン

断層の一部の140mをありのままに保存。段差や地割れ等様々な形で現れた地面のずれや断層の断面を見学できます。

メモリアルハウス

断層の真横に立っていながらほとんど被害が無かった地震に強い家として保存され、耐震建築の重要さを教えてくれます。

震災体験館

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）と東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の2種類の揺れを体験できます。

被災体験を後世に伝える「震災の語りべ」活動も行っており、毎週火曜日にはメモリアルハスで、団体のお客さまにはセミナーハウスで（要予約・要費用）体験や教訓を語っています。園内の物産館には淡路の特産品を揃えた土産物店と地魚が食べられるレストランがあります。

〒656-1736
兵庫県淡路市小倉177番地

AM9：00～PM17：00

月額5,600円で出来る「竹」対策!!「構-kamae-」シリーズ

※テーブル・ベッド　27万円～　/　押入れユニット　13万円～

ANSIN 株式会社 安信

登録無料

お得情報満載!!

メルマガ会員募集中!!

- 毎月2回配信
- 500ポイントプレゼント（防災グッズ等交換可能）

Android　iphone

松・竹・梅対策のアドバイスや家具転倒防止対策、備蓄品、防災グッズのご購入・ご相談は

株式会社 安信 お客様ご相談窓口へ（平日9:00~17:00)

安信

☎ 0120-013-131　✉ info@ansin-bousai.com